

平成 27 年 11 月 16 日

東松島復興推進員だより(第 24 号)

～地を往きて走らず～

東日本大震災から 4 年 8 か月が経ちました。東松島市宮戸地区では、高台に建設された復興住宅への入居が始まってから半年以上が経過しました。仮設住宅から自宅へと移ることで、少しずつ生活が落ち着き始めているように感じられます。

本号では、前々号の齊藤推進員に続き、宮戸地区での地域復興推進員の活動についてご紹介致します。

〈食で宮戸の魅力を発信！〉

宮戸地区には唯一の食堂「げんちゃんハウス」があります。げんちゃんハウスへの協力を通じて、宮戸の食の魅力を発信し、来訪者の増加と地域の活性化を目標に活動を行っています。

現在のげんちゃんハウスは震災の翌年 2012 年 11 月に営業を開始しました。「住民や宮戸地区の復興のために一生懸命作業をしている人たちに温かいものを食べてほしい」、そのような思いから始まりました。料理を作っているのは宮戸で民宿を営んでいた女将さんたちです。女将さんたちは震災により自宅や民宿を失ってしまいましたが、みんなを笑顔にするべく、元気に働いています。

昨年はみやぎ地域復興支援助成金を活用し、新メニュー開発に取り組みました。開発に当たって講師として協力してくださったのは、café はまぐり堂(石巻市)の魚谷浩さんです。女将さんならではの工夫と、魚谷さんの料理のプロとしてのアイデアにより、宮戸らしさがより感じられるようなメニューが完成しました。それが、四季折々の宮戸の地場産品を生かした季節の「ランチ」メニューです。昨年冬に販売をした「カキ(牡蠣)ランチ」は、河北新報に掲載され、連日多くのお客様にお越しいただきました。

食事だけではなく、宮戸の美味しいお土産も販売しています。限定販売されている「海苔の佃煮」は人気商品です。そのため、このような特産品の製造による雇用創出ができるのではないかと考えています。

観光客はもちろん、地元住民の憩いの場となるように、推進員活動をとおり今後も協力を続けていきたいと思っています。げんちゃんハウスが食の魅力を発信することで、訪問者が増え、宮戸地区の活性化の一助となることを期待しています。



げんちゃんハウスで働くお母さん方
女将としての経験を生かし、腕をふるっています。



現在提供しているのは、「カキランチ」
昨年に引き続き大好評です！

〈観光事業の復興を推進！〉

宮戸は野蒜地区と合わせて「奥松島」と呼ばれ、もともと観光が盛んな地域でありました。観光事業の復興により、宮戸への訪問者が増え、地域活性化につながるように協力を行っています。今回は特におすすめの3つの観光スポットをご紹介します。

① 民宿で味わう海の幸

宮戸島には漁師を行いながら民宿を営む家庭が多くありました。震災により大きな被害を受けましたが、復興に向けて少しずつ進んでいます。家庭の味があるように、各民宿での味があるようです。宮戸の食べ歩き、食べ比べが出来るようになると面白いかもしれないですね。

② 観光ガイドの案内による被災地訪問

東松島市には「奥松島観光ボランティア」という団体があります。この団体は震災以前より奥松島の観光ガイドや観光地の清掃、緑化活動に取り組んできました。震災後は観光ガイドだけではなく、語り部として被災地案内を行っています。震災後4年が経ち、復興が進むにつれて震災の跡は消えつつあり、元の景色に戻ったように見えます。しかし実際はそうではないとガイドの皆さんは話しています。東松島市にお越しの際は、是非観光ガイドの皆さんと一緒に奥松島を散策してみたいかがでしょうか。

③ 日本三大溪の嵯峨溪

嵯峨溪は岩手県の猊鼻溪(げいびけい)、大分県の耶馬溪(やばけい)と並ぶ日本三大溪の一つです。松島湾の女性的な景観とは対照的に、男性的な荒々しい岩々が織りなす景色を遊覧船に乗って眺めることができます。遊覧船の運航は天候に左右されてしまうのですが、午前には波が穏やかでおすすめです。船頭さんのお話と素敵な景色を楽しめる遊覧船に乗り、宮戸に是非お越しください。

- 民宿のご紹介: <http://okumatsushima-kanko.jp/stay/>
- 観光ガイドの依頼はこちらへどうぞ
東松島市観光物産協会 HP: <http://okumatsushima-kanko.jp/>
- 遊覧船に関する情報はこちら
株式会社奥松島公社 HP: <http://www.okumatsushima.jp/>

より多くの人に宮戸島訪問をしてほしいと住民は願っています。来訪者が増えることにより、宮戸島に活気があふれてくるのではないのでしょうか。また、げんちゃんハウスに来てくれるお客様の中には、宮戸島の現状や震災時の様子について話を聞きたいという方と多くいらっしゃいます。震災のことを忘れることなく伝えること、そして得た教訓を共有することで今後に生かせるように、推進員として情報発信を今後も続けていきたいと思っております。



遊覧船から見える庄巻の景色



げんちゃんハウス

Facebook:

<https://ja-jp.facebook.com/Genchanhouse>

げんちゃんハウスと宮戸島の今をお知らせ！

【推進員だよりバックナンバー: JICA 東北ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/shinsai/index.html>

以上

 JICA は、宮城県、東松島市、宮城大学、東松島まちづくり応援団(NPO)等と共同で「地域復興推進員」を通じた震災復興モデル事業を東松島市で開始しました。このモデル事業では、早期震災復興につながる”市民協働のまちづくり”を支援することを目指しています。ここで得られた教訓や経験を将来の国際協力に繋がります。
